

研究課題番号	2-2105
研究課題名	国および自治体の民生部門カーボンマネジメントシステムの開発
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	大阪大学
研究代表者名	下田 吉之

1. 委員の指摘及び提言概要

民生部門のエネルギー消費に関わるボトムアップ型のシミュレーションモデルの構築が順調に進んでいる。すでに民生部門の排出削減目標の達成状況、達成可能性を評価するツールとしての有用性が示されており、環境政策への実際的な貢献が期待される。スマートメーター分析や TREES モデルによる家庭部門の解析で、給湯器・暖房機器の電化促進が効果的であることを明確に指摘し、住民の身近な行動で改善できることを示したことを評価したい。ここまで詳細な要素技術の取り込みが行われると、消費者の消費行動の変化予測にも役立つようになるので、AIM モデルとの連携等を考えると波及効果があると思われる。さらに、二次エネルギー削減量の統計データとの整合性の解釈が進むことや具体的なマネジメントシステムの提案を期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：S